

1 実験・実習費に関する調査

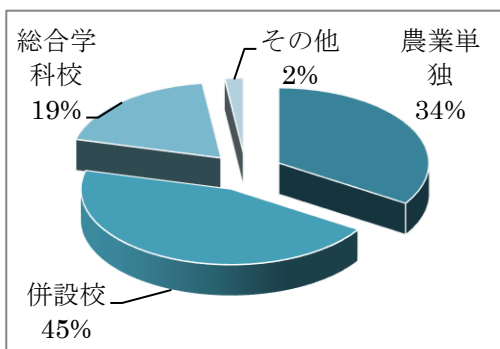
1 アンケート協力校について

アンケート協力校は380校（定時制も一校として数えた）であった。

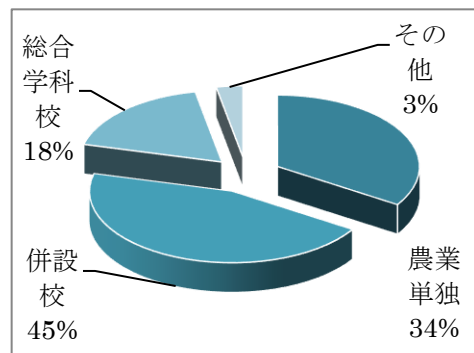
支部名	学校数	農業単独校	併設校	総合学科校	その他
北海道	30	18	6	6	0
東北	52	19	17	15	1
関東	80	22	41	17	0
北信越	35	13	8	13	1
近東	62	20	33	9	0
中国	29	7	17	4	1
四国	29	9	14	5	1
九州	63	23	36	4	0
合計	380	131	172	73	4

2 校種

昨年度とほぼ同様の割合であった。



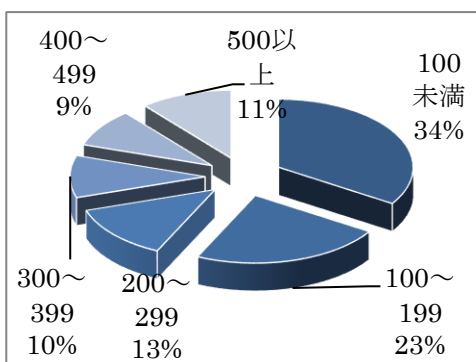
本年度



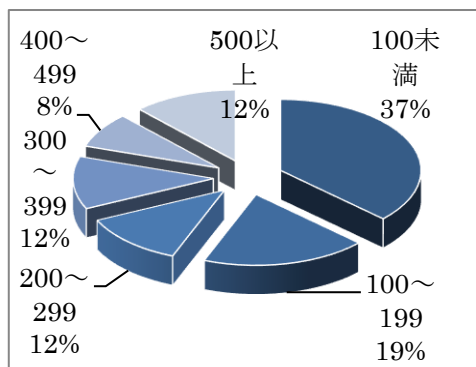
昨年度

3 学校規模

昨年度とほぼ同様の割合であった。



本年度

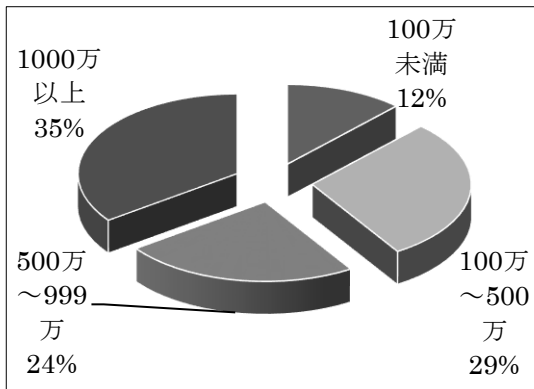


昨年度

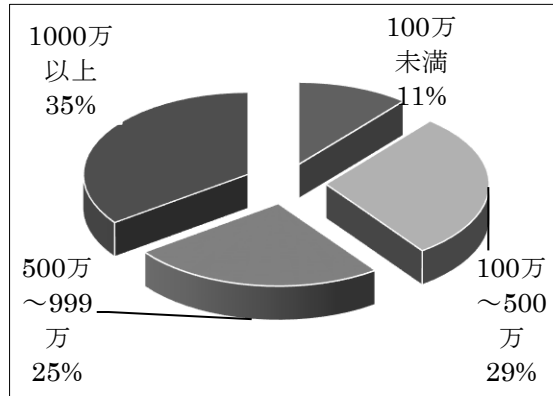
4 収入を伴う実験・実習費について

(1) 平成30年度農場売上金額

昨年度とほぼ同様の割合であった。



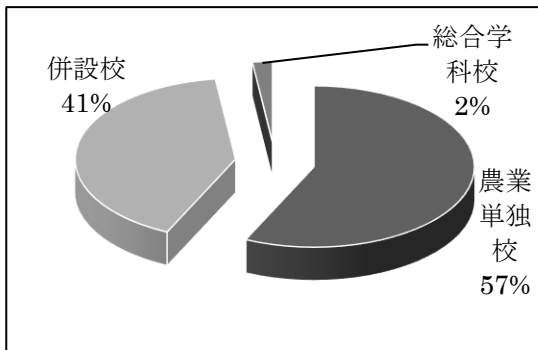
本年度



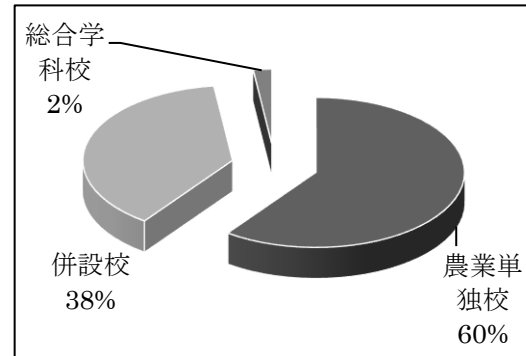
昨年度

(2) 会計規模の大きな学校の割合

昨年度とほぼ同様の割合であった。



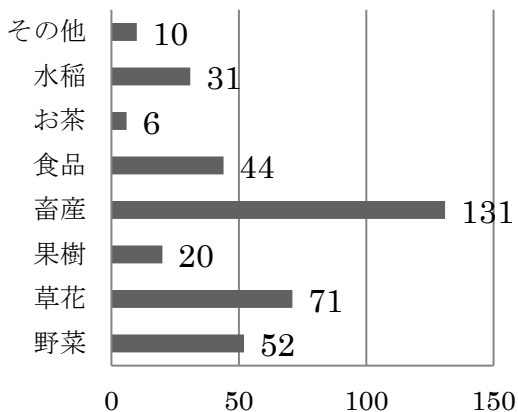
本年度



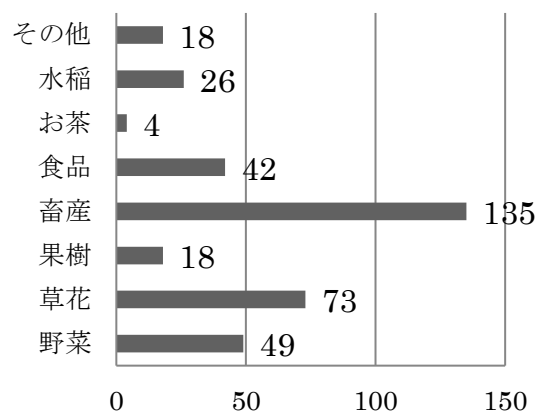
昨年度

(3) 最も収入の多い分野

最も収入の多い分野は畜産で、昨年と同様の結果になった。以下、草花、野菜、食品が続いた。

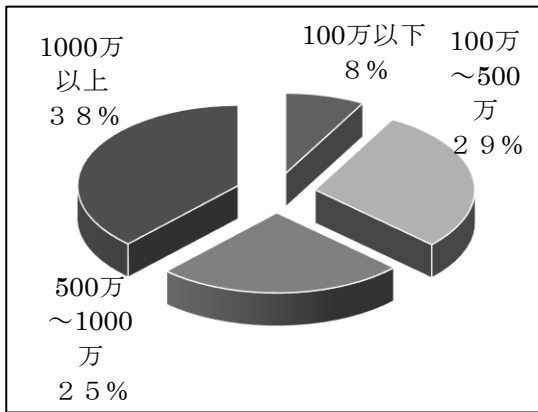


本年度

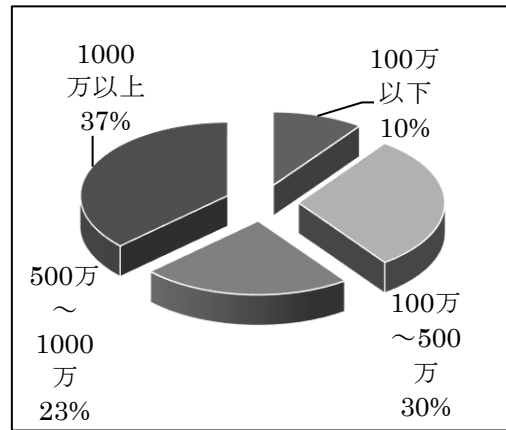


昨年度

(4) 平成 30 年度農場支出金額
 昨年度とほぼ同様の割合であった。

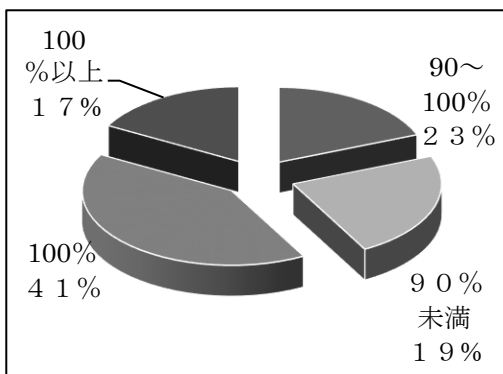


本年度

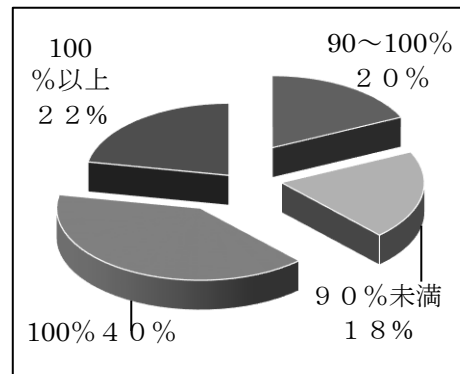


昨年度

(5) 支出金額は売上金額の何%ぐらいを目安にしているか。
 昨年度とほぼ同様の割合であった。



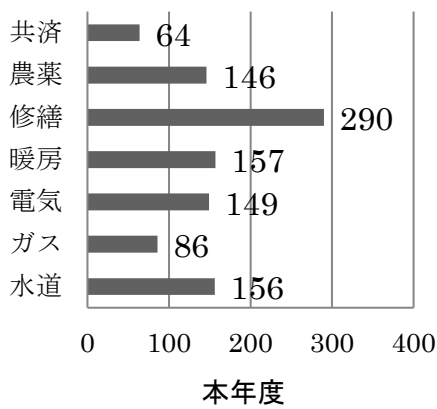
本年度



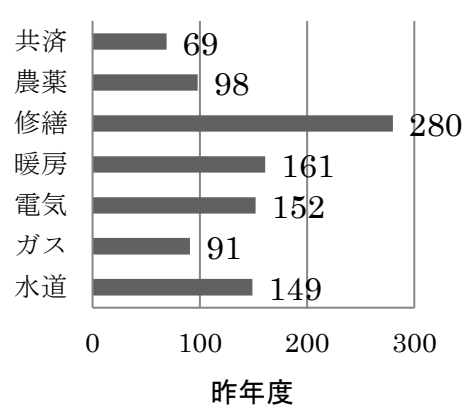
昨年度

(6) 農場共通経費について

昨年度同様、「修繕費」が最も多かった。次に、「暖房代」、「水道代」、「電気代」、「農薬代」、「ガス代」の順で多かった。



本年度



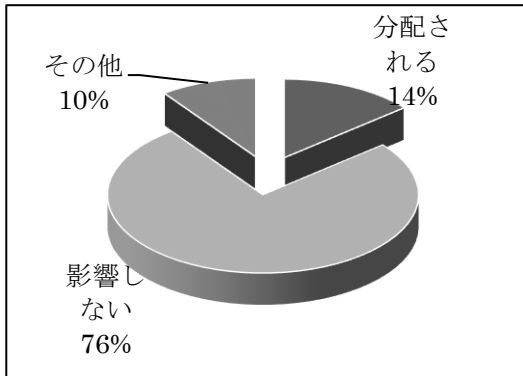
昨年度

(7) 農場共通経費に関する主な意見

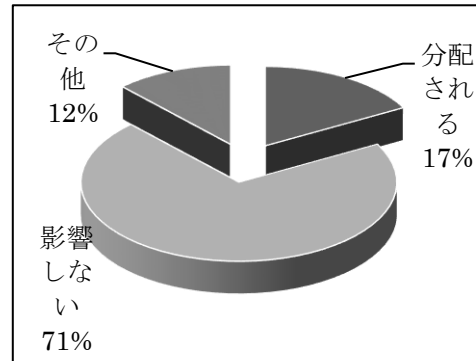
- ・施設設備及び機械、車両の老朽化により、年々修繕費が多くかかる。
- ・燃料費、光熱水費の負担が大きい。
- ・職員減や教育課程の変更等で外部委託する作業が増え、経費がかさむ。
- ・農場規模の縮小により、共通経費の捻出が困難になりつつある。
- ・畜産部は、飼料代が多くかかり、経費の運営が厳しい。

(8) 農場売上金額が予定額を上回った場合、当年度予算に増額して分配されますか。

昨年度とほぼ同様の割合であった。



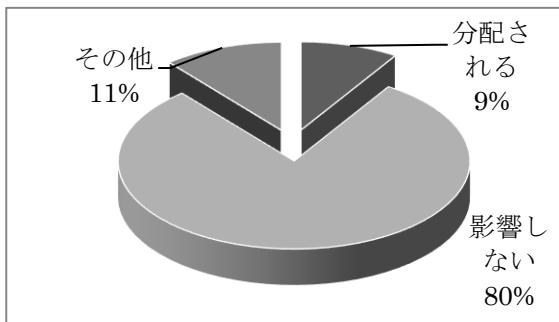
本年度



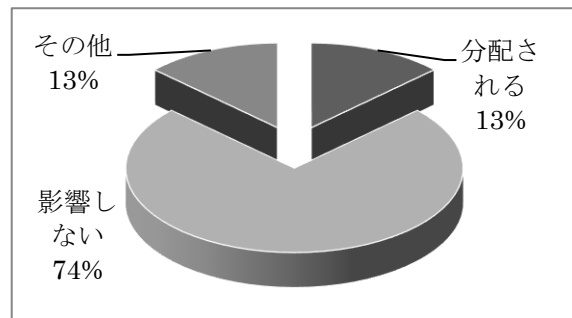
昨年度

(9) 農場売上金額が予定額を上回った場合、次年度予算に増額して分配されますか。

昨年度とほぼ同様の割合であった。



本年度



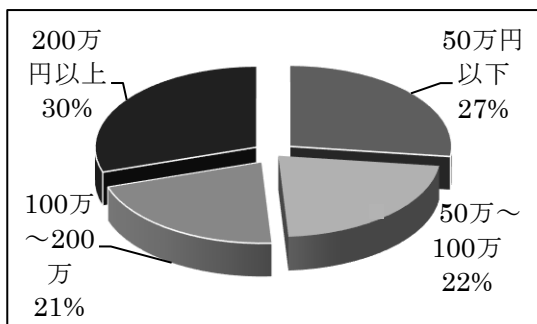
昨年度

5 収入を伴わない実験・実習費について

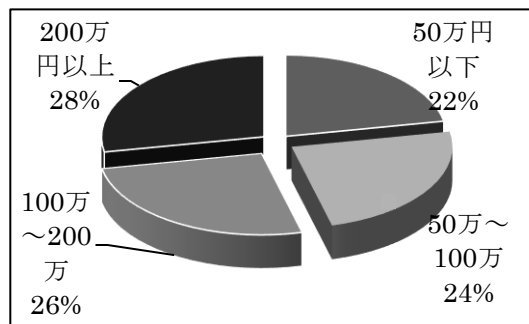
(1) 農業単独校

ア 会計規模

昨年度とほぼ同様の割合であった。

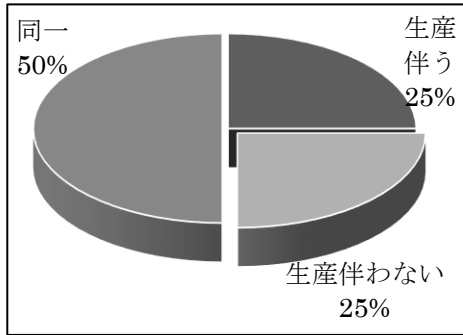


本年度

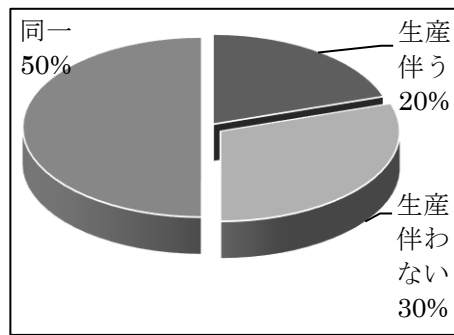


昨年度

イ 農業単独校における学科の違いによる比較（一人当たりの実験・実習費）
 昨年度とほぼ同様の割合であった。

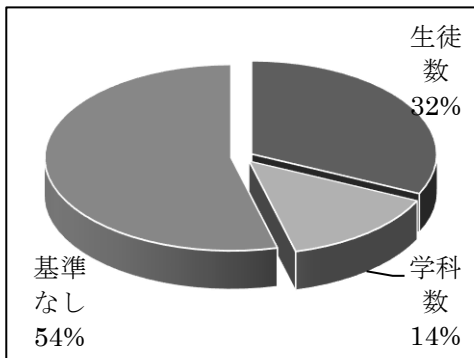


本年度

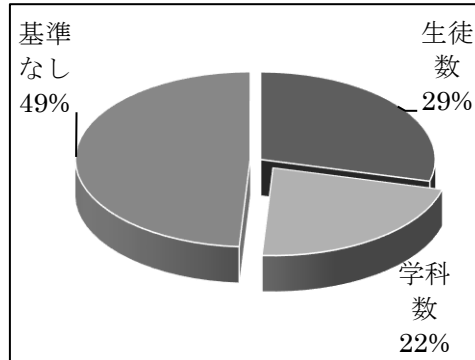


昨年度

ウ 分配基準について
 「学科数」の割合が減少した。



本年度

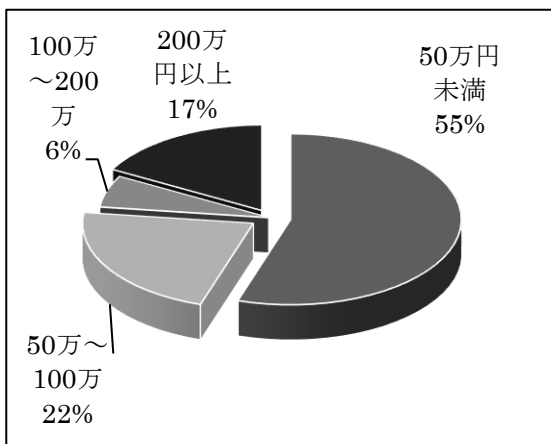


昨年度

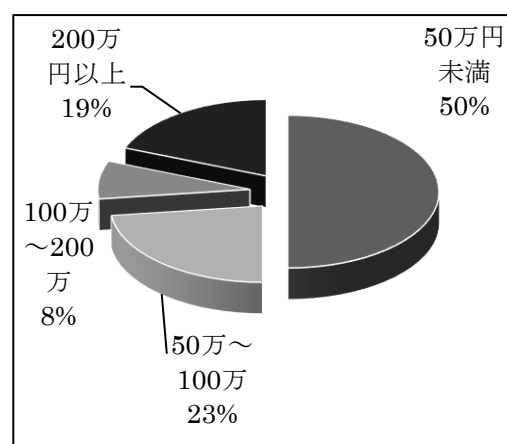
(2) 併設校および総合学科校における学科の比較

ア 会計規模

50万円未満の割合が少し増加した。

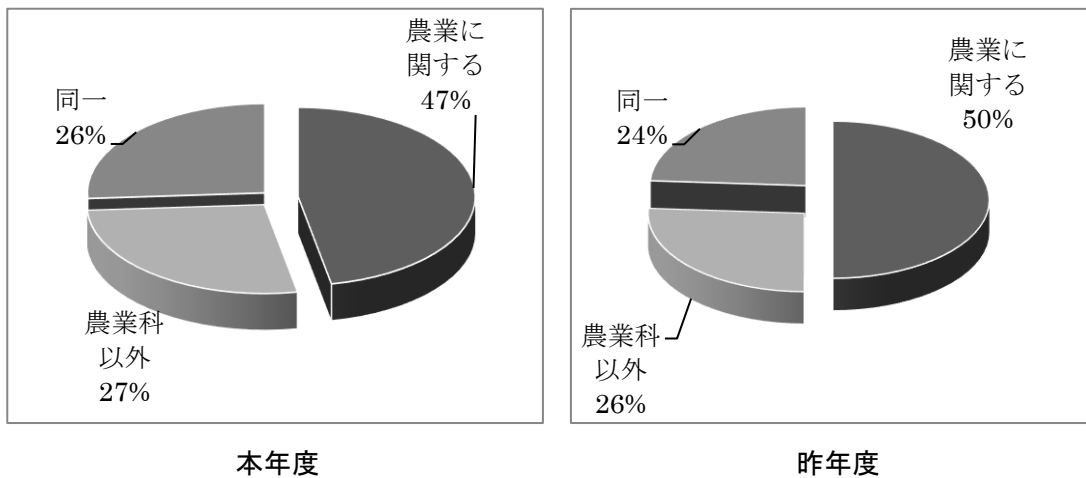


本年度

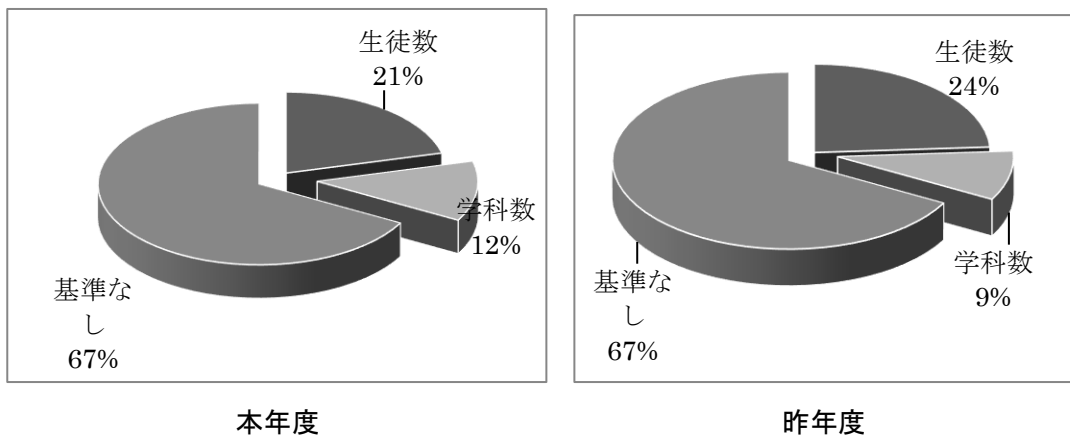


昨年度

イ 併設校及び総合学科における学科の違いによる比較（一人当たりの実験・実習費）
 昨年度とほぼ同様の割合であった。



ウ 併設校及び総合学科校の配分基準
 昨年度とほぼ同様の割合であった。



6 まとめ

- (1) 収入を伴う実験・実習の農場売上金額については、昨年度とほぼ同様の割合であった。
- (2) 最も収入の多い分野は畜産で、草花、野菜、食品が続いた。
- (3) 共通経費は修繕費が最も多く、暖房代や電気代、水道代、ガス代などのランニングコストに当てられるケースが多かった。また、燃料代・資材費・餌代・消費税等の値上げや施設設備、機械、車両の老朽化に伴う修繕費の増加等により、運営が厳しいとする意見が多かった。
- (4) 収入を伴わない実験・実習費では、併設校および総合学科校における学科は、農業単独校と比べ会計規模は全体的に小さい。